



令和5年度の研究主題

子どもが主体的に活動する姿を目指した授業づくり
～一人一人の「できる状況づくり」と各教科等の視点をふまえて～(1年次)

色鮮やかな紫陽花が咲く季節となりました。研究だより第1号を発行します。研究だよりでは、本校の研究推進に係る取り組みについてお知らせしていきます。第1号は、今年度から始まった新たな研究主題について紹介します。

1. 研究主題について

(1) 研究主題について

平成13年度の開校以来「子どもが主体的に活動する姿」を目指して授業研究を積み重ねてきた。主体的な活動の積み重ねが子どもの自立につながり、今の生活、そして将来の生活が豊かになっていくと考える。

今年度は、小学部・中学部・高等部の教育課程（I課程は除く）に共通して設定されている「生活単元学習」を中心に研究を進めていく。本校が大切にしている考え方の共通理解を図り、「各教科等を合わせた指導」の授業づくりについて理解を深めることで授業の充実を図る。



主体的な姿の積み重ねのイメージ

(2) 「できる状況づくり」について

「子どもが主体的に活動する姿」を実現するためには、子どもが「精一杯取り組める状況」と「首尾よく成し遂げられる状況」を教師がつくること、つまり「できる状況づくり」が大切である。よりよい授業実践を継続していくためには、「できる状況づくり」について深く協議をしていくことが必要である。

(3) 学習指導要領をふまえて(令和4年度までの研究を受けて)

令和4年度までの3年間は「育成を目指す資質・能力」（以下3観点）を視点とした授業実践に重点を置いて研究を行った。単元のねがいや個人のねがいに3観点の視点を取り入れることで、具体的な「ねがい」や手立てを考えることにつながった。しかし、学習指導要領解説で述べられているように、「各教科等を合わせた指導」の中で「各教科等の目標を達成していく」ということや「各教科の目標に準拠した評価の観点による学習評価」を行うことについては、話題にする機会が少なく、理解が深まっていない現状がある。また、年度当初に立てる「自立活動の指導のねがい」についても、授業の中でより意識する必要がある。

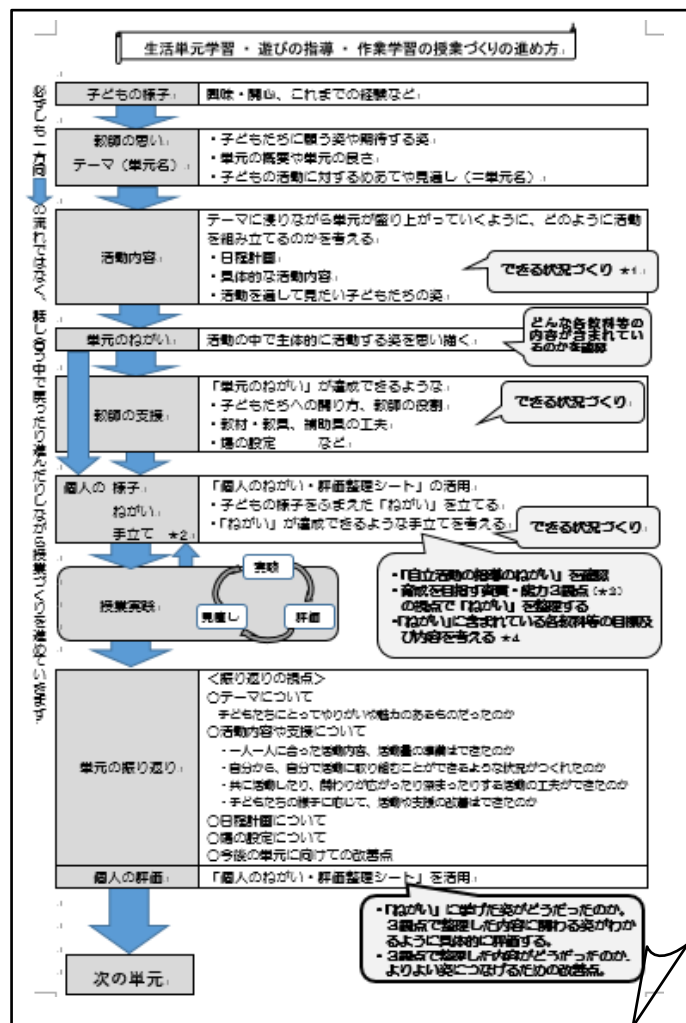
そこで令和5年度からは・・・



『生活単元学習・遊びの指導・作業学習の授業づくりの進め方』（*1）に沿って授業づくりを進めていき、その単元にどんな各教科等が含まれているのかを考えるようにする。子ども個人においては、個別の指導計画の「自立活動の指導のねがい」を確認してから、その単元における「ねがい」を立てる。そして、その「ねがい」を3観点で整理し、整理した内容が各教科等のどの目標及び内容になるのかを考える。これらの取り組みを実践しやすいように、新たに『個人のねがい・評価整理シート』（*2）を活用する。実践によって子どもの「ねがい」を多面的に捉えることができ、単元を通して子どもが何を学ぶのが明確になり、より具体的な見取りや評価につながると考える。見取りをもとに、子どもが、何ができていて何につまずいているのかを把握し、「できる状況づくり」が充実するように研究を進めていく。これらの取り組みを通して、「各教科等を合わせた指導」の理解が深まり、これまで本校が取り組んできた「子どもが主体的に活動する姿」を目指した授業がよりよいものになるようにしたい。

(* 1) 生活単元学習・遊びの指導・作業学習の授業づくりの進め方

(* 2) 個人のねがい・評価整理シート



個人のねがい・評価整理シート

対象児童名 (年)

自立活動の指導のねがい

単元名	指導形態	
単元のねがい		
主な各教科等		
様子	ねがい	手立て
育成を目指す資質・能力		
知識・技能	各教科・外国語活動	
思考・判断・表現		
主体的に学習に学習に取り組む態度		
道徳・特別活動・自立活動		
評価		
資質・能力	評価（○△×）	よりよい姿につなげるための改善点
知識・技能		
思考・判断・表現		
主体的に学習に取り組む態度		

2. 研究の内容・方法

- (1) 本校が大切にしている考え方や「各教科等を合わせた指導」についての共通理解
(2) 一人一人の「できる状況づくり」と各教科等の視点をふまえた授業実践

3. 年間研究計画

<全体>

4/17 (月) 研究推進委員会①

4/20 (木) 全体研究会①

「本校が大切にしている考え方・主体的な姿について」

5/ 1 (月) 全体研究会②「全校研究主題について」

8/ 2 (水) 研究推進委員会②

11/28 (火) 小学部公開全体授業研究会
※講師招聘

2/26 (月) 研究推進委員会③

2/28 (水) 全体研究会③

<各学部>

学部研究会 (月 1 ～ 2 回) 授業実践 (年 2 ～ 3 回) 学部内授業研究会 (年 1 ～ 2 回)

第2号は10月頃発行
予定です。お楽しみに♪

